

猫がくれたしあわせ

林 芳宇

皆さんにとって、猫はどんな存在だと思いますか？

ペット、友達、家族、そう考える方も多いかもしれませんね。

私にとって、猫はそれだけではなく、まるで「神様」のような存在なんです。猫に出会うと、いつも幸せな気持ちになります。今まで私が会った猫は、どれもたまたま道で見つけた猫たちです。それぞれの出会いは、特別縁だと思っています。そして、猫と過ごした日々は、楽しい思い出ばかりです。

6年前のことです。日本語学校に通っていたとき、学校の駐輪場で猫の家族を見つけました。とてもかわいくて、「この猫たちを守りたい」と思いました。それから授業が終わると駐輪場に行ったり、バイトの帰りに寄ったりして、猫たちに会うのが楽しみでした。

その後、先生が1匹の子猫を引き取り、ほかの子猫たちはボランティアの人たちが里親を見つけてくれました。でも、最後に1匹、小さな黒猫が残ってしまいました。

そのとき、あまり話したことがないクラスメートが黒猫に興味を持ちました。その人が猫に餌をあげる姿を見て、「この人ならきっと猫を大事にしてくれる」と感じました。私はその人に「猫は癒されるよ！」と話して、一生懸命猫の魅力を伝えました。

その黒猫のおかげで、そのクラスメートと私はたくさん話すようになり、仲良くなりました。そして猫とはまだ距離があったのに、私たちはいつの間にか親しくなって付き合うことになりました。猫は私に幸せを届けてくれました。

猫との出会いは、私にとっていつも幸せな縁です。これからもたくさんの猫と出会うかもしれません。でも、猫にとって、私との時間はその猫の「一生」です。だから、出会った猫たちを、これからも大切にしていきたいです。